

1 研修会の経緯

喜多郡内の小中学校では、平成 22 年度より内子町サーバの提供する CMS によって各校が Web ページを運用してきた。この CMS は教育センターが推奨する CMS とは異なるもので、Web ページ作成における手続きの制約が多く、コンピュータ操作に手慣れた者でも困惑することが多い。また、教員の異動や校務分掌の変更により担当者の引継ぎがうまくいかず、学校によっては更新が滞ってしまっている実態もある。各校は自校の Web ページが内子町の Web ページの階層化に位置付けられていることも理解し、一人でも多くの教員が Web ページ作成のノウハウを身に付けていくことが必要である。このような実態を受け、喜多郡では行政の Web ページ担当者および教育委員会とタイアップして、毎年実技研修会を行っている。参加者も情報教育主任に限定することなく、各校 2 名以上の参加を呼び掛けることで、各校の Web ページが定期的に更新されることを期待している。

2 情報教育技術研修会

- (1) 期日 平成 28 年 5 月 24 日 (火)
- (2) 会場 内子町立内子中学校 コンピュータ教室
- (3) 講師 内子町役場総務課職員・内子町教育委員会学校教育課職員
- (4) 研修内容

① Web ページ作成方法・保守管理の確認

ア 講師による基本操作の説明

Web ページ作成を初めて担当する教員が多くいたため、メニューの作成や画像・リンクの挿入の仕方など、実際の作成過程を見ながら基本操作の確認を行った。

イ 質疑応答

基本操作だけでなく現段階における作成の課題についても質疑応答が行われた。年度初めに Web ページがアップできない不具合が生じていたが、その解決方法も教えていただいた。

② Web ページ内容の確認および実技

ア Web ページ内容の点検及びアクセシビリティの確認

よりよい Web ページ内容となるように、アクセシビリティへの配慮を中心に説明していただいた。表記方法や代替テキスト挿入など、閲覧するすべての人に配慮した Web ページ作成となるように確認していった。

イ 実技および各学校への個別指導

ここまで指導していただいたことをもとに、参加教員が自校の Web ページを実際に作成していった。講師に個別に教えていただきながら作成していくことで、初めて作成を担当する教員も疑問点や不明な点などを解決していきながら活動を進めることができた。また、これまで作成を担当していた教員も、閲覧者がより見やすくなるように Web ページ内容の改善を図ることができた。

3 研修会の成果と今後の課題

今年度初めて Web ページ作成を担当した教員はもちろん、これまで担当してきた教員も内子町の CMS を利用した Web ページ作成の不明点や疑問点を解決することができる有意義な会となった。また、質疑応答や個別指導を通して、Web ページ閲覧者がより見やすくなるための方法などの理解を深めていくこともできた。喜多郡内では複数の校務分掌を兼務している教職員が多いが、各校 2 名以上の教職員が Web ページの作成のノウハウを身に付けることで、今年度はどの学校も例年以上に Web ページの更新に努めることができた (<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/13.html> 参照)。これからも、よりよい Web ページを作成していけるように、研修を充実させていきたい。